科目名			担当教員	
地域福祉と包括的支援体制Ａ			大石　剛史	
科目コード	科目単位	スクーリング単位	履修方法	配当年次
CC3097	2	1	RorSR（講義）	２年以上
生成 AI 利用レベル		レポート　：　B	試験（スクーリング含む）　：　C	

科目の概要

■科目の内容

これまでの歴史的経緯を踏まえ、地域共生社会を含むケアリングコミュニティの構築に向けた地域住民等や地方公共団体並びに関係機関の役割を理解し、人々の繋がりや地域社会の機能力が脆弱化してきていると指摘されている今日、地域福祉実践の理論と実際を理解し、具体的に実践するための手法を学びます。

具体的には、各地域における様々な実践事例や、エピソードなどを交えて、地域福祉の基本的な考え方と、その考え方が具体的な実践でどのように活かされているのか講義を通じて紹介します。

これらの事例等を通じて、地域福祉の実践によってどのような効果や成果が望まれているのか等に関し、地域住民が取り組む意義と、地域福祉実践が絶えず動的に展開される必要性について理解を深めます。

【教員等の実務経験による指導内容】

自治体、社会福祉協議会等への地域福祉の進め方に関するスーパーバイズ経験等を活かして、小地域福祉活動の進め方、地域共生社会に向けた包括的支援体制の構築方法、地域福祉計画の策定プロセス等、具体的な事例等を交えて解説する。

■到達目標

1）地域福祉は、地域住民等が推進主体であることを説明できる。

2）地域福祉は、地域共生社会の実現に向けた実践であることを説明できる。

3）地域福祉実践のために、包括的な支援体制を含む人的社会的資源のシステム形成の必要性を説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「開発・創造力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価 50%＋スクーリング評価 or 科目修了試験 50%

■教科書・参考図書

【教科書】（「地域福祉と包括支援体制Ｂ」と共通）

都築光一著『福祉ライブラリ現代の地域福祉（第２版）』建帛社、2022 年

（最近の教科書変更時期）2023 年４月

（スクーリング時の教科書）【各会場共通】上記教科書は必ず持参してください。旧教科書を所持している場合でも受講に支障がないよう資料などを配付します。

【参考図書】

1）大石剛史著『ケアリングコミュニティの理論』学文社、2024 年
2）日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座［共通科目］6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規出版、2022 年
3）公益社団法人日本社会福祉士会『地域共生社会に向けたソーシャルワーク：社会福祉士による実践事例から』中央法規、2018 年
4）日本地域福祉研究所（監修）、中島修、菱沼幹男（編集）『コミュニティソーシャルワークの理論と実践』中央法規、2016 年

スクーリング

▶仙台・オンデマンド開講分　大石　剛史

■スクーリングで学んでほしいこと

地域福祉の定義や概念を理解するとともに、地域福祉の歴史的な経過や地域福祉の基本について学びます。地域福祉の主体は、あくまでも住民主体です。地域住民が主体となって地域共生社会づくりを進めていけるように支援するための基本的な考え方と、具体的な実践手法について事例を交えて解説します。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	地域福祉の概念と理念	住民自治・福祉コミュニティ
2	地域福祉とは	概念・定義
3	地域福祉の原理と実践	住民主体、地域性、人的社会的資源
4	地域福祉の歴史（欧米編）	デンマーク、イギリス、アメリカ
5	地域福祉の歴史（日本編	日本における地域福祉のあゆみ
6	社会福祉協議会	社会福祉協議会の概要、歴史、現状、課題
7	福祉行政	国と市町村の福祉行政の仕組み、特別地方公共団体
8	福祉財政	福祉関係の一般会計、特別会計、寄付金その他
9	スクーリング試験	

※オンデマンド・スクーリングでは、上記の講義内容と異なる場合があります。

■講義の進め方

教科書をわかりやすくパワーポイントにまとめた資料を中心に進めます。

■スクーリング評価基準

とくに到達目標記載内容についての理解を問います（教科書および自筆のノート、配付資料のみ持込可）。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

教科書の第 1 章・第 2 章・第3章は読んできてください。

レポート学習

■在宅学習 15 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	地域福祉を学ぶ（序章）	地域福祉を学ぶことの現代的意義について理解する	・今地域福祉を学ぶ意義の理解 ・地域福祉の具体的な展開の意味を理解する
2	地域福祉の理念（第１章）	地域福祉の理念としての住民自治と福祉コミュニティを理解する	・民主主義の基本としての住民自治 ・社会福祉のコミュニティ論としての福祉コミュニティ
3	地域福祉とは（第１章）	地域福祉の定義を理解する	地域福祉とは、地域住民等が、人的社会的資源を活用して、福祉コミュニティ構築を目指す、実践をいう。
4	地域福祉の原理と実践（第１章）	・住民主体・地域性・人的社会的資源の意味を理解する	以下の３点について理解する ・地域福祉における住民の主体性の原理 ・内発的発展と地域性の原理 ・人的社会的資源のシステム形成の原理
5	外国における地域福祉のあゆみ（第２章）	・デンマーク ・イギリス ・アメリカ	・実践理念としてのノーマライゼーション ・地域福祉の精度のあゆみ ・ソーシャルワーク理論の発展
6	日本における地域福祉のあゆみ１（第２章）	第二次世界大戦までの日本の地域福祉のあゆみを振り返る	・幕末まで……国家としての取り組みのない時代 ・明治～大正期…地域福祉の萌芽期 ・大正～終戦期…停滞期
7	日本における地域福祉のあゆみ２（第２章）	戦後の制度構築期からこんにちまでのあゆみを振り返る	・戦後～2000 年…地域福祉模索期 ・2000 年～……地域福祉形成期
8	地域社会と最近の動向（第２章）	日常生活課題と地域共生社会について理解する	・多様化する生活問題 ・地域共生社会の実現
9	社会福祉協議会１（第３章）	社会福祉協議会の存在意義とこれまでのあゆみを理解する	・設立の背景と機能 ・わが国における社会福祉協議会の歴史
10	社会福祉協議会２（第３章）	社会福祉協議会の法的規定と市区町村社会福祉協議会	・社会福祉協議会の法的根拠（社会福祉法） ・市区町村社会福祉協議会
11	社会福祉協議会３（第３章）	都道府県および全国社会福祉協議会と今日の課題	・都道府県社会福祉協議会 ・全国社会福祉協議会 ・社会福祉協議会の今日の課題
12	社会福祉行政１（第５章）	福祉行財政の原則と原則	社会福祉法と地方自治法の ２ つの法令から理解する。 ・福祉行政と財政 ・行政運営の原則
13	社会福祉行政２（第５章）	福祉行財政のあゆみと構造	・戦後における福祉行財政のあゆみ ・福祉行財政の構造
14	社会福祉行政３（第５章）	福祉行政機関と組織	・国・都道府県・市町村における福祉行政機関 ・多様な行政機関の組織

15	社会福祉行政３ （第５章）	行政の展開過程と財政	・行政実務の類型 ・行政実務の意思決定過程 ・財政の仕組み

■レポート課題

１単位め	「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。
２単位め	地域生活課題の多様化をふまえ、求められるケアリングコミュニティ（地域共生社会）のあり方とその構築方法について、学んだ地域福祉の概念や理論を適切に用いて論述しなさい。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

現代の地域生活課題、地域共生社会のあり方、地域福祉に関する諸理論、福祉行財政の枠組み等に関し、テキストをよく読んで確認して解答してください。

【1 単位めアドバイス】

教科書をよく読み、「TFU オンデマンド」上で客観式レポートに解答してください。

【2 単位めアドバイス】

複雑で多様な現代の地域生活課題をふまえ、分野横断的かつ地域住民の力も借りながらどのようにケアリングコミュニティ（地域共生社会）を構築するか、その構築のプロセスについて、学んだ地域福祉の概念・理論を適宜用いると良いでしょう。

科目修了試験

■評価基準

テキスト・文献や法律等からの引用だけではなく、学んだ知識を踏まえた上でのご自身の考察が重要です。的確な内容の理解に基づいたうえで、独自性のある考察が行われていることが評価ポイントになります。